

これからを妄想するワークショップ

志木駅東口ペDESTリアンデッキは、1999年に整備されてから既に25年以上が経過しており、老朽化が進行しているため今後改修工事を予定しています。

また、志木市中心市街地活性化基本計画の中で「ペDESTリアンデッキは憩い・交流の場とするとともに中心市街地へ人々を誘導するための新たなポイントとして活用していく」ことが謳われています。

そこで、ペDESTリアンデッキの利活用について、市民のみなさまからのご意見を広く聴取することを目的に、本ワークショップへの参加募集を行い、応募された市民の方々により計3回開催いたしました。



これからを妄想するワークショップ

ペDESTリアンデッキ整備利活用基本構想に向けたワークショップを開催します

| | | | |
|-----------|-------------|----------|-------------|
| 1st 11.21 | 10:00-12:00 | 2nd 12.5 | 10:00-12:00 |
| 3rd 12.19 | 10:00-12:00 | | |

お申し込みフォーム
このQRコードをお申し込みください
※お申し込みは、お申し込みフォームから行います。

第2回：志木駅東口ペDESTリアンデッキでどんな過ごし方がしたい？

ペDESTリアンデッキでどのような過ごし方がしたいか、利用別の視点から3班に別れて利活用イメージを検討し、その場でグラフィックレコーディング（作絵）し、利活用イメージの共有を図りました。



A班：乳幼児から学童期と保護者



B班：中学生から若者



C班：就業者・事業者・シニア

- 芝生で寝ころびたい
- みんなでご飯を食べられる場所
- 育児相談のできる場所
- 絵本の読み聞かせをしたい
- 子どもマルシェ

- 勉強できる場所
- お昼寝をしたい
- イルミネーションデート
- 学生のための不用品交換会
- 音楽コンクール

- くつろげるスペースがほしい
- 帰宅途中にお酒を飲める場所
- プロジェクションマッピング
- スポーツ大会
- 常設テナントがほしい

第1回：志木駅東口エリアについて考えてみよう！

市民の目線から、好きな公共空間、いまいちな公共空間について意見交換を行いました。主に以下のような意見が出されました。

【好きな公共空間】

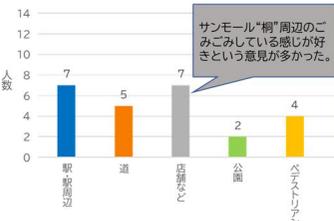
- ペDESTリアンデッキ
→ イベント時に賑わい、老若男女が集う
- いろは親水公園
→ ランニングによく行く
- 駅周辺
→ 近くに小規模保育園が多い
- 県道
→ 電線がなく空が広く見える

【いまいちな公共空間】

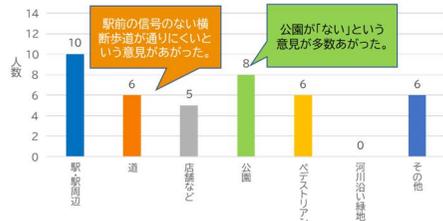
- ペDESTリアンデッキ
→ わざわざ通る理由がない
- 公園
→ 駅周辺に公園が少ない
- 駅周辺
→ 東口ー南口間で自転車を通れない
- 駅前の信号のない横断歩道
→ ルール無用で渡っている



【好きな公共空間】



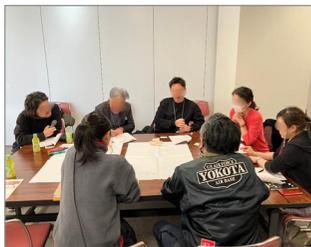
【いまいちな公共空間】



第3回：志木駅東口ペDESTリアンデッキのコンセプトを考えてみよう！

利用別の視点から3班に別れて、ペDESTリアンデッキを“どのような空間にしたい”のかについて意見交換を行い、その利活用イメージ、及びコンセプトを言葉にまとめるワークを行いました。

各班共通していた利活用イメージは、『出会い・交流・体験』、『安全・安心・居場所』、『魅力づくり』となっています。



A班：乳幼児から学童期と保護者・シニア



B班：中学生から若者



C班：就業者・事業者

今回のワークショップでの意見を踏まえ、事務局にて以下の利活用コンセプトを設定しました。今後、ペDESTリアンデッキの改修工事に際して、出来る限り反映できるよう検討を進めていきます。

【利活用コンセプト】 **多様な出会いが豊かな心を育てるみんなの居場所**